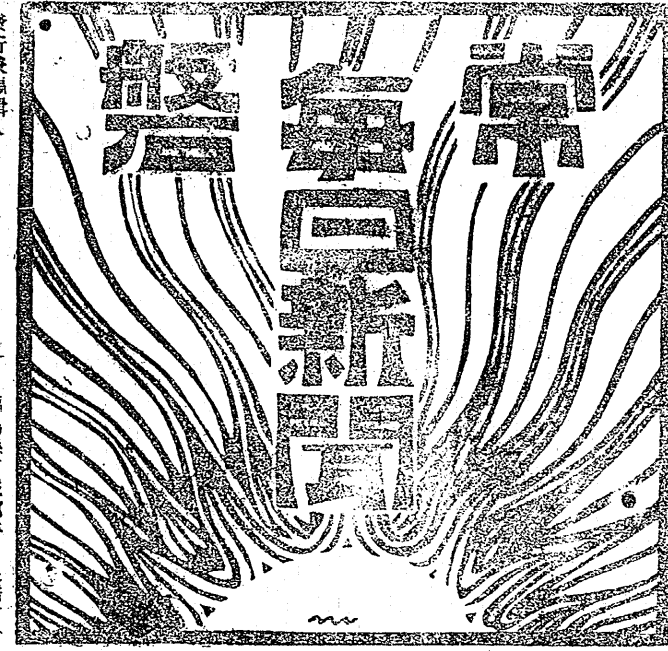


發行編輯人 川崎文治
印刷所 東京毎日新聞社
福島縣石城郡平町長橋町五番地



定部金貳錢
一ヶ月廿五錢
三ヶ月七十五錢
半年一百五十錢
一年三百元
廣告費另議
印刷所 東京毎日新聞社

刊夕日八月八

常警論壇
平町の將來 (三) 東榮寄
斯く言ひ來らば或は總ての計畫は洪水を完全に防止の後で尙遲とせよとの論を爲すものもあらん然し平町をして洪水より脱せしむるには到底茲數年の内には覺束なく少くとも十五年間位の繼續事業として計畫せねば完全に洪水より脱するを得ざるのである、此間町民は酒々として期の至るを待たんか極度に疲弊したる後の回復は到底今日の如き平町

を見る事能はざるのである洪水は何處の地にも之れを見る東京の如き下水其他總てに於て完備せるにもかゝらず尙たま〜市中腰を没する洪水に見舞はるゝのである殊に此後平町の發展を畫する谷川瀬田浦は二尺乃至二尺五寸の盛土を以て充分に洪水點以上に達する事を得る然らば平町の發展を害するものは洪水にあらざる政黨にして之れが爲め共同畫策を欠く所謂なり、更に商業上より平町將來を言ひば平町現在の發展は主として炭礦に依て見る事を得るので地方的の客を吸集する事は實に薄弱で亦

地方的客を客とせざるの傾向がある、何となれば炭礦の好況時代は從て収入も多ければ亦購ふものも贅澤なるに引替地方的の永久的客は總てに於て購ふものも亦地味のかたむきあるが故に遂に炭礦をして顧客とする所謂ではあるまいか今町内に於ける大小旗亭も是等に入する藝妓に至るまで亦然りて斯の如きは地方客の感情を害すると同時町發展のさまたげとも多少なりはすまいか



化粧用
カクニ石
壹個十錢
平町四丁目
ツルヤ
電話百四十

常警文藝
病む友に 町田みのる
青きかやにすぎ通るらし
永く〜病むこの友の肌の白さよ
病む人の白き御手に染みつきし苺の汁の赤き色かな
看護する白衣の人のあを白き頬にかゝれる黒きはつれ毛
乳色の皿に盛りたる大なる苺をことに喜びし君
眞紅なる布團に頬をうすめたる君が瞳のにおきいろかな
病む人の枕邊にありしひなげしの一本生けを今も思ほゆ
切れのながき目をまご〜とまぶしげにする人なりし今病む友は
今ははや生えるすべなき我友の熱ある頬を淋しく見つむ 終り

醤油と味噌
福島縣平町
鹽屋山崎本店
電話長二七番
振替東京一九七五五番
上野東車坂町四三
東京支店
電話長淺草五七二八番
振替東京六八三一二番

齒科
平町土橋通り
原齒科醫院
電話卅一番

悲劇週三間大名篇上
松本泰助・歌川八重子共演
現代活劇 霧こむる夜 全六卷
說明 眞澄秀水
尾上紋十郎・津守玉枝共演
時代悲劇 湖畔の晩鐘 全七卷
說明 丸山東洲 富岡春朝
結核 琵琶歌 全八卷
大悲剧 琵琶歌 大原錦陵
說明 大森茂
有聲座
電話四四六番

加藤營業所
平白銀町電話三二番

霜降小倉
通學服
寸法各種
澤山取揃
磐城平
ふかや洋服店
電話三〇三番

逸獨 高級眼鏡
藤田家傳
代價拾錢
許官目
藤田榮助
平町電話三二番

エーホン號
特價提供
正價 四十五圓
のところが 特價 三十五圓
會田時計店
電話三六三

常盤屋時計店
電話三三九番

愈々明日決行さるゝ 四倉行自轉車遠乗會

一般參加者諸君に告ぐ
早朝尼子橋集合

既報本社主催の四倉行自轉車遠乗會は愈々明日日となつた、何卒參加者は左記の要項をお含みの上夏の海邊に於ける一日の清興を共にされん事を望む

一 集合地 午前六時半迄に尼子橋上へ

一 出發 午前七時半日本大學マラソン選手會川源三君が眞先きにスタートを切り、續いて一行は間隔一間置きに列縦隊に並び平町を横斷して四倉に向ふ

一 到着地點 途中杉原四倉町長の出迎(を)を受け午前八時十分海氣館バラック到着

一 催し 少憩の上福引を行へ景品を分配す

一 畫食 海氣館調製の瓣當にビールを添ふ但し(日本酒、サイダー)と交換するも自由)

貴社の蠅取競争は 國家的意義を有す

今回の催しを見て……

磐城病院副院長 市原陸郎

貴社で蠅捕獲競争を行つて其數無慮一八四、九六〇匹を算し尙締切り後多數持ち來つたとの報を耳にした數に於ては寧ろ我々の期待よりは少い感じがしますが蠅なる物は吾人社會には全く無益なる害虫であると云ふ衛生に適ふ

良行爲を なす事になる譯です、況してや今回の催しは平町大勢の町民が共鳴賛同された即ち此感念抱持者となつて本計劃遂行に聲援され 然も満足する結果を擧げ得た事を聞くに及んで唯に貴社並に一町の事業でなく實に國家的の 顯著なる保健衛生事業と推獎しても過言でないと思ひます 發生場所及生活條件の適、不適にもよりますが蠅の驚くべき繁殖力を 持つて居る事は既述の通りですが總てに文化程度の進歩し、衛生思想の 向上せる 英國の土地に於て計算したる數すら僅か一匹の蠅が五ヶ月目に僅か二千五百九十二萬匹に増加し其半數が雌となつて十五億五千二百二十萬個の卵を産んで之が 同數の蠅 になりま

す、生活の途中に於て天死或は捕殺さるゝ數もかなり有るに違へないが今假りに之の半ばが雌として繁殖の天職を 發揮した りとせば幾兆億萬の計數を示すが容易に計上し得ない數に達するでせう 僅か一匹 に於て斯

のバルチスを傳播さるゝといふに至つては其恐るべき事到底 筆舌には つくし得ない、依つて如何に今回の計劃が有効であり社會に貢獻裨益する處多かつたかは喋々するまでもない、私は公衆衛生上及護身的の見地よりして貴社の 着眼計劃 をば大に歡迎禮賛し併せて大いに成功を祝福する次第です

下水設備の 大體な調査

伏見平町長の
腹案を基とし

伏見平町長は本春就任早々吏員中より六名の委員を擧げ町長の私案として下水設備に關し非公式に各個獨目の調査をなさしめつゝあつたがこの程大體の調査が纏つたものゝ如くその内容として仄開する處によれば各案とも大同小異にしてその多くは町の西北より東南へ本町通りを横斷して新南裏新川に落ちる數條の幹線下水を設け各支線(水)の分をあはせ放流せんとするも

の、如く該簡易下水の新設に關しては經費四五十萬圓の巨額を要するから今日直に實現することは困難であらうが將來平町の下水計劃が具体化する場合に於ては最初に於ける唯一の參考資料として今回の調査成績が町會に報告さるゝであらう

坑内の犠牲者 七十五靈の 法會を執行

昨十三年は常磐炭礦界の大厄年にして入山、藤原の瓦斯爆發古河磐城の坑内出水等各社殆んど均等に

大災害 を被つた就

中最も悲惨なる出來事として今尙世人の記憶に新たなるは湯本町入山第五坑の瓦斯爆發で當時の犠牲者は實に一舉七十五名の犠牲者を出し地方空前の慘事として 天下の 視聽を聳動せしめたが右は昨年の今日今日なる明九日午後七時の出來事である、恰もその一周忌に相當するので同社に於ては明日午前八時より湯本町字臺の山なる同社俱樂部に遭難者の 遺族を 招き同町惣善寺森住職以下七名の僧侶に依り懇なる追悼の法會を催し死者の靈を弔ふ筈であ

る 長 橋 分團總會 松屋樓上にて 平町長橋町青年分團にては本日午後三時より松屋樓上にて臨時總會を開き、諸種の協議、會員の演説、其他餘興等あつて懇親會に移る

であるがめづらしくも第八十九回の五萬六千四百三十八號といふ同じ番號の債券三枚が去月一日の抽籤で運よく一等に當り勸銀の本店から通知されるまで全然それを知らなかつたがいよ、當選確實の通知を受けしたのは本月一日百圓札で百五十枚を受取り大ニコ、 平町人事 出生 △一丁目三一 鳥海篤助氏長男希介 △三丁目二五 山澤健三氏長男繁三 △鎌田町二九 武子國太郎氏嘉助 △二丁目二二 伊關爲助二男治郎 △死亡 △白銀町一四 杉山かつ(七九) △才地小路一 大里達次郎(一六)

けふから立秋…… 反つて暑くなる

小名濱測候所觀測談

涼し過ぎた土用も今日も今日も立秋である、けふあたり巷を吹く風は何となく秋らしいが、暑さはこれから一こぎり烈しくなるのが例である、小名濱測候所は語る「元來立秋といふ言葉は 支那から來たもので彼の地では實際に涼しくなるが、日本では一番暑い盛りだ、今年暑くもなく寒くもなく中ぶらりの氣候であつて平町も此四五日は曇つてゐたが、 高氣壓 の爲めに今日あたりから向ふ一週間位は暑さが續くであらう、夕立も時々あるかも知れぬ兎に角百度以上になつた昨年

夏繭出廻る

石城郡内農村は春蠶の良好に高價の爲め一ト息つたが二三日前よりまた夏蠶の出廻りとなり價格も九圓以上と云ふ頗る高價である

募集

文藝其他投稿を募集します

の成績の如きも春蠶と同様良好で昨年度に比し二三割の増收の見込みであるので之が爲め舊盆前の郡内金融界には大なる影響を來たすであらうと見られてゐる